

概要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 昨日（3日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約1,100名態勢で活動。
昨日 （3日） の 自衛隊の 主な活動	【主な活動部隊等】 陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面後方支援隊（目達原・佐賀）、海自艦艇1隻（うらが）等 【給水支援活動（3市3箇所）】 ○ 給水車5両 ・ 八代市については、人工透析に必要な水が不足している病院への給水支援。 ・ 宇城市、宇土市については、入浴支援のための給水。 【入浴支援（3市4箇所）】 ＜宇城市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。 ＜八代市（2箇所 ※「はくおうⅡ」含む）＞ ○ 海自掃海母艦「うらが」、海自佐世保入浴支援隊 ・ 「うらが」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時30分から午後9時00分まで実施。「うらが」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。 ＜宇土市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 宇土アリーナにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後10時まで実施。 【PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援】 ○ PFI船舶「はくおうⅡ」、PFI船舶支援隊（県庁で連絡員として勤務） ・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、入浴支援等の提供を午前11時から午後3時、午後4時から午後8時まで実施。 ・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、9月3日から2泊3日の宿泊支援及び食事支援の提供を実施。 ※9月7日から、7回目となる2泊3日の宿泊支援を開始予定。入浴・宿泊支援は9月13日をもって終了。 【連絡員の派遣状況】 ○ 熊本県庁等に、4箇所・延べ約10名派遣。
活動の様子	 【八代市】給水支援を行う陸自隊員 ※8/24撮影  【宇城市】入浴支援の準備を行う陸自隊員 ※8/8撮影  【八代市】「はくおうⅡ」船内の様子 ※8/11撮影